

三重県知事の回答(第16回憲法キャラバン)

「非正規職員の正規化に向け支援」

みえ労連が6月6日～31日にかけて実施した「第16回憲法キャラバン事前アンケート」に、すべての自治体首長から回答がありました。

この結果をもとにみえ労連は7月3日から、県内28の市町と三重県を訪れ、自治体幹部との懇談を行いました(度会町のみ8月末)。県副知事はじめ、多くの自治体で市長(副市長)・町長が、また、事務方トップの総務部長や福祉部長などの参加をいただきました。憲法を自治体行政に活かしていくために、今年も率直な意見交換ができました。



7月19日 三重県副知事との懇談

① 人口減少・少子化対策

問1：貴自治体の「少子化対策」をお教えてください

★ 政府の子ども家庭庁発足に対応する施策が多彩に。しかし、先行き不明で限定的・

①産業振興策：各市町とも人口減少対策に産業振興策の法人税の免除などの企業誘致支援金等を実施。

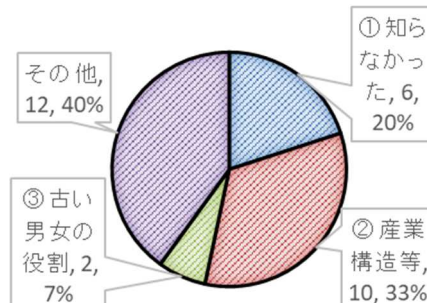
②子育て支援策：こども医療費の18歳までの無償化を多くの自治体を実施。三重県の「みえ子どもまるごとパッケージ」に予算の倍6億円の申請。

③移住・定住支援策：南伊勢町の新築補助200万円など多彩。

② 男女の賃金格差

問2：三重県は、男女の賃金格差額が全国ワースト1位とのデータがあります。どのようにお考えですか？

2. 男女の賃金格差

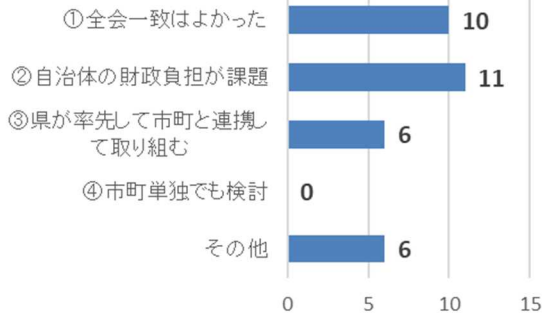


★ 注目は三重県知事の回答「非正規職員の女性に対して、正規化に向けて取り組む」

市町の回答は、「産業構造」等が10首長と、現実的な回答となっていました。三重県知事の回答は、積極的な取り組みの回答です。直接支援ではないものの、企業への先事例の紹介、要請など期待したいものです。

④ 保育請願の県議会採択

4. 保育請願



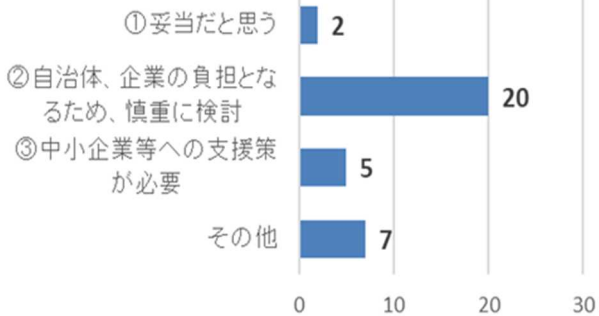
問4：先の三重県議会で、「より良い保育めざす請願」が全会一致で採択され、国・政府へ意見書が提出されました。どう思われますか？

★「全会一致はよかった」 10 首長

画期的な県議会での全会一致の議決。ただし、「財政負担が課題」11首長、「県が率先して市町と連携して取り組む」6と現実的な回答。副知事も、「せっかく県内で保育士資格の教育をしたのに愛知に逃げる。なんとかならないか」と知事からも指示がある、と説明。

⑤ 最低賃金

5. 最低賃金



問5：「全国一律最低賃金制、最低賃金 1,500 円」を要望しています。貴職のご認識をお聞かせください。

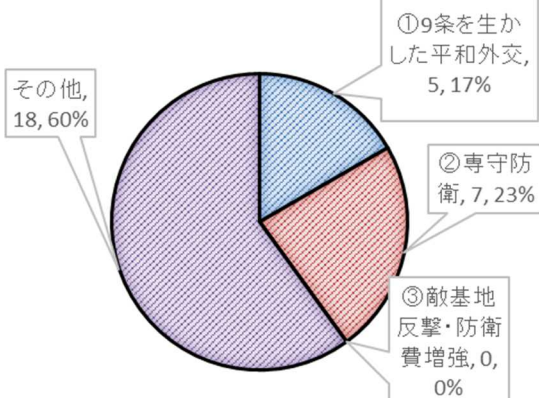
★ 大幅増の要求に「財政負担で慎重に」

最賃 1500 円への要求に、「自治体と中小企業の負担増になるので慎重に」と20首長が回答。

⑥-1 防衛政策の転換

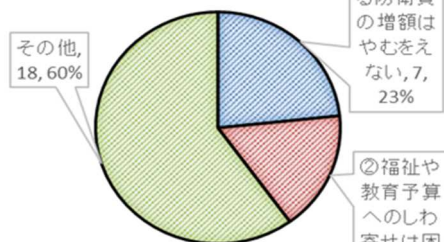
問6-1：安全保障・防衛政策が大転換しました。貴職はどうお考えですか？

⑥-1 防衛政策の転換



⑥-2 防衛費の大増額

問6-2：防衛費大増額は住民の福祉暮らしへの影響が心配です。どのような認識をお持ちですか？



★「9条を生かした平和外交」が5首長

9条による平和外交は、昨年の2首長から大きく増加。防衛費の増加に、「やむを得ない」と回答の町長も、「自治体予算へのしわ寄せは困る。副知事も、個人の見解として、「先食い」では困る、現在の国の財政運営のスタンスでは見通しが立たない」などと答え、真剣な懇談が実施されました。

非常勤講師に残業代を支払っていないのは違法だ

みえ教育ネットが県人事委に措置要求 【記者会見する大原委員長】



みえ教育ネットワークは、7月7日、三重県人事委員会に対し、地方公務員法に基づく措置要求書を送付し、大原委員長が県庁で記者会見をおこないました。措置要求は、津市立の小学校で非常勤講師を務める大原さん自身が6月に残業をした12時間15分の残業代を県教委に支払わせるよう県人事委員会に求めました。県教委は約2400人を小中学校や高校、特別支援学校の非常勤講師として採用。担当する授業のコマ数や経験などに応じて給料を支払っていますが、非常勤講師の時間外労働について定めた内規はないといいます。「非常勤講師も授業の準備などに相当な時間が必要。措置要求をきっかけに全ての非常勤講師に残業代を支払ってもらいたい」と述べました。県人事委事務局は「要求の内容を審査するなどし、受理するかどうかを検討する」と説明。受理した場合は関係者への聞き取りによって事実関係を確認するなどし、県教委に対する勧告の可否を検討する方針としています。

2番目の介護医療ネット誕生「ひだまり」 三重県医労連

私たちが働く「ひだまり入浴サロン」では、「サロンに来る方々に、居心地がよく、みんなが笑顔になれる安心・安全な環境をつくらう」という理念を掲げて入浴サービスを提供してきました。職場では、労働時間が長くないローテーションを組み、働きやすい職場づくりを心掛け、有給休暇の完全消化も積極的に取得するようしてきました。しかし、採用された年により賃金面で差があることや、有給休暇の面で不満が出ていることがわかってきました。そこで、問題解決のためにみんなで話し合い、協力して支えあう組合が必要だと痛切に感じ、組合結成を決意しました。5月31日に結成大会を開催し、6月1日に組合結成通知を提出しました。早速、初めての一時金を獲得。組合の力を感じています。



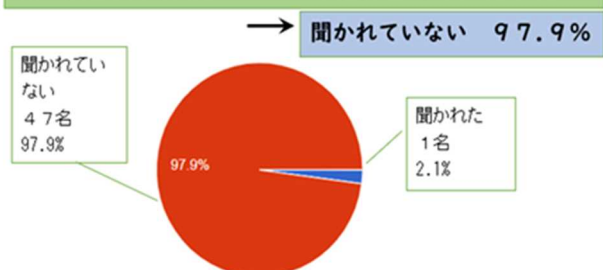
病院職員 48 人がアンケートに回答 名張市立病院を守りよくする会



7月18日(火) 名張市役所で記者発表

6月6日から、名張市立病院を守りよくする会が実施（QRコード）した病院職員アンケートに48名が回答を寄せました（回答率24.3%）。病院の在り方に98%が「聞かれていない」と職員無視の在り方検討が進んでいます。また、「この1年間にパワハラを受けた、見た、聞いた」が77%にあがっており、ハラスメント体質の改善も大きな課題であることが明らかになりました。

問4. 病院の在り方について意見を聞かれましたか



2023 人事院勧告・初任給8%増の大幅引き上げ

生活改善に届かず!

8月7日、人事院は国会と内閣に対して棒給表プラス改定と一時金の引き上げ勧告を行いました。

高卒初任給で8%・12,000円、大卒6%・11,000円と、10,000を超えるのは33年ぶりです。

今回の引き上げは、春闘時期から緊急勧告を求め、全国から10万筆を超える改善署名などを公務・民間の共同の力で進め、みえ労連も6月22日に「最賃・公務賃金集会」を開催してきた結果です。ただし、今年の中央最賃の目安は加重平均

1,002円であり、改訂後の高卒初任給は時間当たり992円であり依然として最賃を下回っています。

みえ労連は、今後、三重県人事委員会への要請行動を進めます。

本年の給与勧告のポイント

過去5年の平均と比べ、約10倍のペースアップ

- ・初任給を引上げ（高卒：約8% [12,000円]、大卒：約6% [11,000円]）、ボーナスを0.10月分引上げ
 - ・テレワーク中心の働き方をとする職員について、光熱・水道費等の負担軽減のため、在宅勤務等手当を新設（月額：3,000円）
- 【官民較差】3,869円（0.96%）
→いわゆる「ペア」に相当。モデル試算した定期昇給分を加えると、月収で約2.7%、年収で約3.3%の給与改善

※過去5年の官民較差の額及び率の平均は、約360円（約0.1%）。大卒・高卒の初任給をともに10,000円を超えて引き上げるのは、平成2年以來33年ぶり
官民較差の額3,869円は、平成6年の3,975円以來、29年ぶりの水準。官民較差の率0.96%は、平成9年の1.02%以來、26年ぶりの水準

三重県最賃引き上げ・40円アップ **973**円

三重県の最賃審議会は8月7日、物価の上昇などを受けて、県内の最低賃金を40円引き上げ、時給973円とする答申を三重労働局長に行いました。40円の引き上げ額は平成以降で最も高くなっています。

最低賃金は企業が労働者に最低限支払わなければならない賃金で、都道府県ごとに異なり、県内では現在、時給933円となっています。

全労連は、「最低賃金を全国一律1500円以上」に大幅引き上げ、格差を解消するように求めてきました。中央最低賃金審議会に、この全国一律1500円以上にすることを決断し、5年で達成できるように、年100円程度の引き上げを計画的にすすめる水準の目安を少なくとも示すよう求めていました。

夏だ! カヌーだ!



みえ労連事務局長の高岡です。今回は私の春から秋にかけての趣味を紹介します。シーカヤックを初めて20年近くになりました。普段は「チーム凧」という名を付けた仲間と共に鳥羽のベースから漕ぎ出し、無人島で酒を飲んだり、酒を飲んだり(笑)。

水面ギリギリの視点で岩場の底を眺め風に揺られて、何物にも代えることができない楽しみです。実は意外と安くできる趣味ですので皆さんも是非!